

令和3年（2021年）5月13日

## 山形大学公開講座「憧憬の文学 文学の憧憬」のご案内

### 【本件のポイント】

- 令和3年度山形大学公開講座「憧憬の文学 文学の憧憬」を開催します。
- 対面（定員30名）のほか、オンライン（定員なし）での受講も可能。
- 一般2,000円、大学生・高校生無料。申込み受付は5/20まで。

### 【概要】



山形大学公開講座「憧憬の文学 文学の憧憬」（全5回）を令和3年6月毎火曜日に開催します。日本で、ヨーロッパで、アメリカで、人間はなにへのどのような憧憬を描き、いかなる文学として昇華してきたのか。そして憧憬を描いた作品はさらにどこへ飛翔してゆき、読者はどう受け止めてゆくのか。本学人文社会科学部担当教員5名が、小説から戯曲までさまざまな側面から考察します。本講座は対面のほか、オンラインでも受講いただけます。一般2,000円、大学生・高校生無料。お申し込みはチラシ添付の振込用紙または下記お問い合わせまで。

### 【講座の概要】

いまここにはないもの、いないひと。近代市民社会が成立しつつある19世紀初頭ヨーロッパにはじまるロマン主義は、現実を超えたなにか、理性の先のなにかといったさまざまな対象を描いた。そして、このロマン主義文学に限らず、なにものかへの「憧れ」は、ジャンルを問わずつねに文学的衝動の根幹をなし、刹那的な文学思潮としていつかはじまりいずれ消えるのではなく、古代から現代にいたるまで生き続けているともいえるだろう。

文学は憧れを描き、同時に憧れは文学を求める。

日本で、ヨーロッパで、アメリカで、人間はなにへのどのような憧憬を描き、いかなる文学として昇華してきたのか。そして憧憬を描いた作品はさらにどこへ飛翔してゆき、読者はどう受け止めてゆくのか。五回の講座のなかで、小説から戯曲までさまざまな側面から考えていきたい。

### 【プログラム】

- 6月1日（火）「最上義光と連歌一戦の世に見た夢」／准教授 生田慶穂
- 6月8日（火）「憧れの時間軸—ケイト・ショパンとトニ・モリスーン—」／准教授 宇津まり子
- 6月15日（火）「黒いボールと青い花—〈憧憬〉にまつわる自然とテクノロジーの対立—」／准教授 摂津隆信
- 6月22日（火）「『日本浪漫派』と山形」／教授 森岡卓司
- 6月29日（火）「文学について語る文学—トーマス・マン『ヴェニスに死す』における美への憧れを出発点に—」／准教授 渡辺将尚

【場所】 山形大学小白川キャンパス（山形市）、オンライン（Zoom） 【時間】 各回 18:30～20:10  
（感染状況によっては、実施方法を変更する場合があります。）

【対象・受講料】 一般2,000円、大学生・高校生無料 【定員】 対面30名、オンラインなし

【募集期間】 2021年5月10日（月）～5月20日（木）

【お申し込み方法】 指定の振込用紙（パンフレット添付）で受講料をお振り込みください。大学生・高校生はメールで住所・氏名・電話番号・連絡先を下記お問い合わせにご連絡ください。

### お問い合わせ

小白川キャンパス事務部総務課社会連携推進室（企画広報）

TEL 023-628-4505 メール kj-koho@jm.kj.yamagata-u.ac.jp